

東日本大震災特集号の発刊にあたって

行政社会学会会長 中 川 伸 二

東日本大震災の発生から3年あまりが経過しました。犠牲になられた方々に、改めて哀悼の意を捧げるとともに、今なお避難され、困難の中に身を置いておられる方々の再起・復興を願ってやみません。

本会の構成員である行政政策学類の教員は、震災発生直後の学生の安否確認に始まり、学生・教職員の安全確保や被災地の復興、避難者の生活支援等に取り組んできました。震災から3年という節目を迎えるにあたり、そうした取り組みの成果や、そこから得られた学問的知見について取りまとめ、学類の学会紀要である本誌において震災特集を組むこととしました。これまでの学類活動を振り返り、今後の活動の方向性を再確認するとともに、被災地にある大学として、今後の震災復興・支援をさらに後押ししたいという願いが込められています。

また、被災地で暮らすものとして、震災経験や記憶を後世に伝えるため、震災当時のことや、その後の活動において、あるいは日々の生活を送る中で感じたことなどについてもエッセイとして掲載することとしました。御味読いただければ幸いです。

福島の復興は未だ道半ばではありますが、本会会員諸氏の活躍は、必ず復興の歩みを進めるものとなるでしょう。本会の活動がそれを後押しするものとなり、またよりよい地域社会の構築に資するものとなるよう期待しています。